

専如ご門主ご親修

本願寺国府別院

親鸞聖人750回大遠忌法要及び 惠信尼公750回忌法要

期日 2020(令和2)年10月24日(土)～25日(日)

場所 24日(土)本願寺国府別院本堂
25日(日) 恵信尼公廟所

TEL 025-543-2742 URL <http://www.kokufu.ecnet.jp>



淨福寺
門徒会発行
☎ (025) 536-2532
FAX (025) 536-2674
✉ jofukuji@alpha.ocn.ne.jp

令和2年10月24日には国府別院、25日には板倉区の恵信尼さま会館で本願寺第25代専如御門主をお迎えしての『親鸞聖人750回大遠忌法要及び恵信尼公750回法要』が勤まります。

このお二人の法要には全国から大勢参拝に来られます。そのための準備をしている最中ですが、24日には、帰敬式(おかみそり)も予定されていますので、淨福寺のご門徒様には是非お参りして頂きたいと思っています。また、国府別院では、その二大法要をお迎えするにあたり、様々な「お待ち受け法要」を予定しています。参拝を希望される方は淨福寺までご連絡下さい。

なお、4月12日(日)に予定しておりました御記文法要の稚児行列有りは、新型コロナウィルス感染防止のため中止になりました。

宗祖御誕会

日時 5月21日(木)午前10時～

会場 本願寺国府別院

講師 三宮享信師(滋賀教区正源寺住職)



恵信尼公法要

日時 6月5日(金)午前9時30分～

会場 恵信尼公廟所

講師 葦原理江師(熊本教区覚応寺)

午後より女性布教使4名に

よる布教大会 テーマ「恵信尼さまを偲ぶ」

第28回 若婦人中央(本願寺)研修会に参加して



小田阿希奈 (6区)

私は、葬儀や法要、月命日などしか仏教に触れることが無く、お寺について非日常的な感覚で、あまり知りませんでした。今回、研修があるので出席してみませんかとお話しを頂き、縁あって研修会に参加させて頂きました。

研修の中で、「独生独死・独去獨來」という言葉が出てきました。独りで生まれ、独りで死にゆくのですが、私たちは独りだけの力で生きているのではなく、色々な人のおかげで生きさせていて支えてもらっているけれど、誰かの支えにもなつており、ひとりひとりがかけがえのない存在であると改めて感じました。

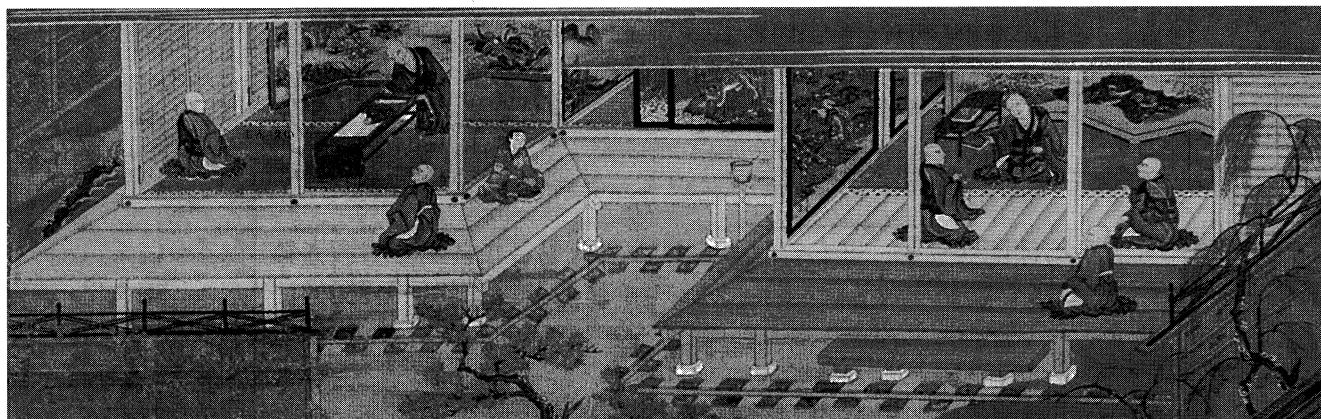
今回の研修で、仏教の教えにとても興味がわき、もっと知りたいと思いました。また、班別話し合い法座で、他教区では花火やお泊り保育、プロジェクトマッチピング、お抹茶を頂くなど、様々な行事を行っていることを知りました。自教区でもコンサートやお念珠作り、講演会などの行事を行っていますが、お寺で参加を働きかけてもらつても、今まで自らが関心を持つて参加しようとあまり思いませんでした。ですが、仏教の教えを知りたいという思いが生まれ、はじめての一歩を踏み出したように感じました。

淨福寺様には、様々な事前準備等をして頂き、感謝申し上げますと共に、研修に参加させて頂きました。

『親鸞聖人御絵伝』～絵で見るご生涯とご事績～その2

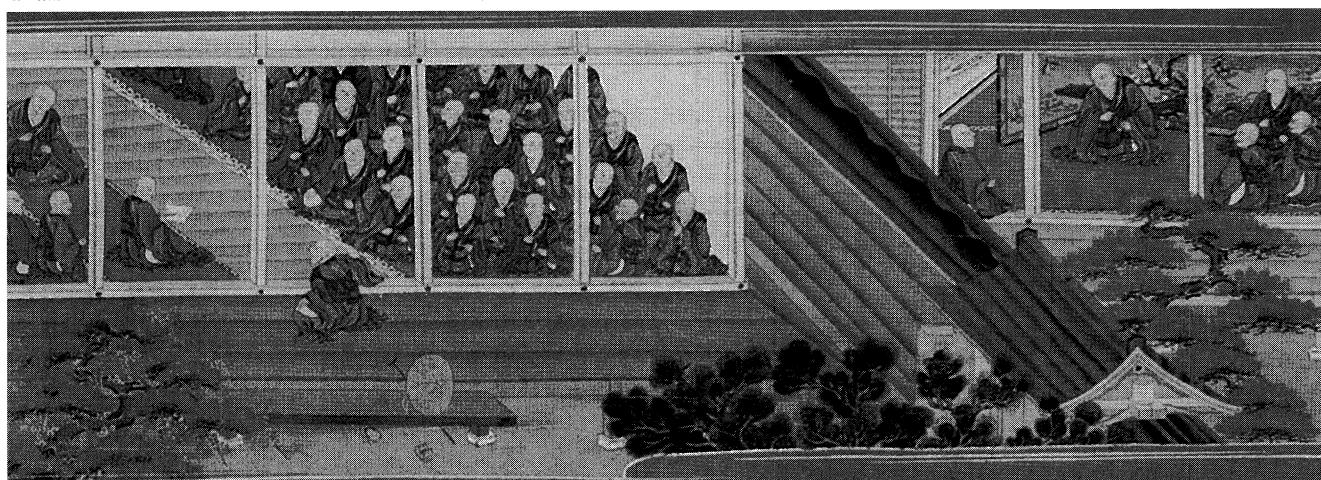
『親鸞聖人御絵伝』を前号43号に引き続いて解説したいと思います。『御伝鈔』にはいろいろな花が描かれていますが、それは季節を表しています。

第二幅第一図「選択付属」一吉水・『選択集』の付属と法然聖人真影の図画
法然聖人にとって宗祖は浄土教の深意をいただかれた証である。



親鸞聖人（善信房）にとって、もっとも感動的な出来事は、380人余りの門弟のなかで、師である法然聖人の御著書『選択集』の書写を許されたことでした。それは、法然聖人が善信房ならば間違なく浄土教の教えを伝えることができると思われたからなのです。さらにはこの『選択集』の書写だけでなく、師のお姿を図画することも許されました。この図で法然聖人と善信房の信頼関係が明らかにされています。そしてこの図には、赤い撫子が描かれています。

第二幅第二図「信行両座」一吉水・信行両座分判
親鸞聖人の提言によって信不退と行不退の二つの座が分けられた図



この図のなかで白い衣を着ておられるのが親鸞聖人で、聖人と対面されているのが法然聖人です。この図の右側では、親鸞聖人（善信房）が「お弟子方が集まられたときに、本当に浄土往生できる正しい信心をいただかれているか聞いてみたいのです。」と、法然聖人に提言されました。そこで法然聖人は、「よろしいでしょう。明日、人々が集まる時に申し出てみて下さい。」とお話しされている様子が描かれています。

左側では、翌日、善信房が集まったお弟子方に「浄土往生が決定するためには、阿弥陀様の本願を信じることが大切だとする『信不退』か、それともお念佛の行を励むことが大切だとする『行不退』かを判断して、左右に分かれて座って下さい。」と仰せられました。

部屋の入口に座った善信房が着帳を手にしています。遅参した熊谷次郎直実（一の谷の合戦で息子

と同じ年の平敦盛を討ち取ったことで無常觀をいただき、のちに法然聖人のお弟子となつた方で、法名を「法力房蓮生」という)があわてて履物を乱雑に脱ぎ、杖と傘を放り捨てて、「善信房の御執筆何事ぞや」と尋ねます。善信房が「信不退・行不退の座をわけているのです。」と答えます。見れば参百余人の門弟のほとんどが行不退の座にひしめき、信不退の座にはわずかにお二人が座るのみです。

「しかば、法力も信不退の座にまいるべし」といって、信不退の座に座りました。

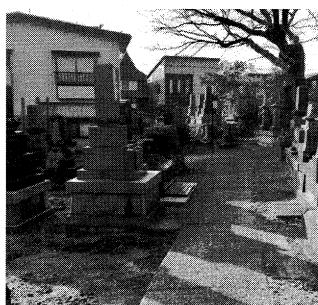
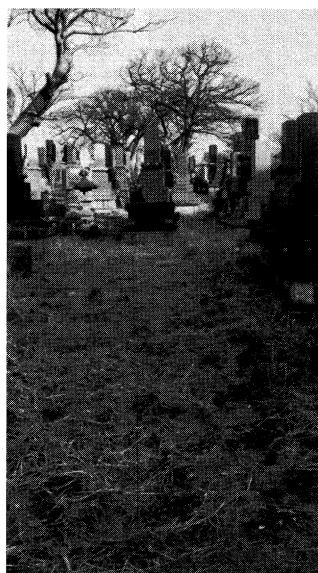
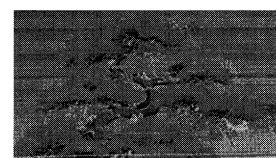
行不退にいる多数派は、一言も口を開く者がなく、重苦しい沈黙が続きましたが、善信房もおもむろに筆を執って自名を信不退に載せました。

やがて法然聖人が奥から現れ、「源空(法然聖人)も信不退の座につらなり侍るべし」と言われたので、門弟の多くは動搖し、不快な顔をしたり、慌てて後悔したり、あるいは師に対する不信感をのぞかせる者もいました。

「行不退」は、所詮阿弥陀如来様に対する信頼ではなく、それは單なる形だけにすぎません。

一方の「信不退」は、阿弥陀如来様に身も心もすべてをお任せしており、正しく教えを理解されているということです。

庭先に描かれた植物にも意味があり、「信不退」の庭先には老松に藤がかかるっていますが、松は弥陀の本願、藤はたのむ衆生を表わして他力の相を示しているそうです。「行不退」の庭先の雑多な草木は、自力の相を表しているそうです。



寺報などで何度かご通知し、8年間待つたのですが、問い合わせもありませんでしたので、妙高市の堀石材店にお願いして片付けさせて頂きました。全部で22基ありました。それらのお骨は境内地にある無縁仏のお墓に納骨させて頂きました。堀さんは淨福寺の石垣修復工事をして下さった業者で、大変良心的な仕事をして下さいました。

境内のお墓には、まだ私にはわからぬ古いお墓があります。それらも機会を見つけて一緒に撤去したいと思しますので、心あたりのある方は早めに申し出て下さいね。

倒壊したお墓の撤去を致しました。

平成19年の中越沖地震の折りに倒壊しました。お墓を令和元年11月5・6日に撤去致しました。

急な訃報で驚きました。とても残念で寂しく思います。滝沢さんは長年常任委員として淨福寺のために貢献して下さいました。また私のよき理解者としていつも助けて下さいました。

清掃奉仕でもいつも外のトイレ掃除をご自分から申し出でして下さいましたし、本堂の照明もすべてLEDに取り替えて下さいました。またお彼岸などのお講などには必ず参拝に来て下さいましたし、私の計画したことだからといって講演会などにも参加して下さいました。私にとつても、淨福寺にとつても、大きな存在を失った気がしております。

今後は滝沢さんの思いを大事にして、頑張つていきたいと思います。

常任委員の滝沢暉さまが お浄土に往生されました。



清掃奉仕の御礼と次回のお願い

令和元年12月8日(日)のお煤払い清掃奉仕には、3区・4区の34名のご門徒さんと常任委員10名が来て下さいました。いつも皆様から助けて頂き心より感謝し御礼申し上げます。また、今まで3回来て頂いた方には本願寺より取り寄せた記念品をお渡ししました。

今年の報恩講お引き上げ清掃奉仕は、6月14日(日)に落合・下金原・下条・江島・百木・下小野・上小野・高畑・初田・岩野・米山寺・芋島のご門徒さんにお願いする予定です。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



「新一年生を祝う会」開催のご案内

浄福寺では、毎年4月に「新一年生を祝う会」を開催しています。

「初参式」は、赤ちゃんがご誕生になられたことを阿弥陀様に報告し、感謝の気持ちを伝える式です。そして、その赤ちゃんが成長して一年生になったときに、また改めて「新一年生を祝う会」でお祝いさせていただいています。

ただ、今年は新型コロナウィルスの感染を考慮して、「一年生のお祝い」を延期して「初参式」と同時に左記の日程で開催致します。出席された方には、お祝の記念品をお渡しします。該当される方は是非お知らせ下さい。浄福寺の本堂で御一緒に祝いいたしましょう。

記

「初参式」ならびに「新一年生を祝う会」

5月10日(日)午後1時半～2時半

(初参式は昨年1月～12月に生まれた赤ちゃんとこれまで欠席された赤ちゃんが対象)

参加費は共に1,000円です。どうぞ普段着でお気軽に越し下さい。

2020(令和2)年度浄福寺の定例行事

3月20日(金)

春季彼岸会法要

5月10日(日)

初参式・新一年生を祝う会

6月7日(日)

第1回墓地草刈り
(浄福寺に墓地のある方)

6月20日(土)

22日(月)
当山お引き上げ報恩講

6月23日(火)

門徒会世話人総会

8月2日(日)

第2回墓地草刈り
(浄福寺に墓地のある方)

8月7日(金)

在方盆参

8月13日(木)

15日(土)
町方盆参

9月22日(火)

秋季彼岸会法要

11月16日(月)

終お講

その他の行事

8月21日(金)～23日(日)

第3回「手じこと・手づくり」柿崎・上越作品展

9月13日(日)

第23回浄福寺公開講座

講師 玉置妙憂師(僧侶・看護師)

テーマ 「死にゆく人の心に寄りそう
～医療と宗教の間のケア～」

11月7日(土)

新潟いのちの物語を紡ぐ会

テーマ 「みんなで『人生会議』

～あなたの人生の「大切なこと

～を語り合おう～」

11月8日(日) チャリティーコンサート
浄福寺清掃奉仕 6月14日(日)と12月6日(日)
赤倉ホテル有縁講 11月中旬予定

今後共皆様方からの本誌へのご要望・ご意見、そしてご投稿をお気軽に寄せ下さいます様お願い申し上げます。

印刷株式会社